

ホストタウンサミット2019

会期：2019年2月23日（土）12：30～（受付10：00～）

会場：武蔵野大学 有明キャンパス 〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3

主催：内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

ご挨拶



東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

櫻田 義孝

本日は「ホストタウンサミット」にご参加いただき、ありがとうございます。昨年に引き続き、ホストタウンに係る関係者の皆さんが一堂に会するこの集まりを開催できるのは大きな喜びです。

ホストタウンは2018年12月の第11次登録で、288登録、358自治体、111ヵ国・地域に及んでいます。これからも増えていくと思いますが、中でも未登録の国がまだ多い中南米地域やアフリカ地域の国のホストタウンとなる自治体が増えることを期待しています。また、今後は特に、パラアスリートを受け入れるホストタウンが増えることが大切だと考えています。そのためにも、競技を終えた選手にホストタウンを訪問してもらい「大会後交流」に重点を置いた取組が重要になってくると考えています。

各自治体におかれては、地域の資源をフルに生かした様々なホストタウン活動を実施されていますが、このサミットの機会をとらえ、各地での活動について情報交換し、人脈を広げ、今後のさらなる取組のヒントを得る場として活用いただければ幸いです。

今回、基調講演においては、映画監督の安藤桃子さんと駐日フランス大使ローラン・ピック氏を迎え、今後のホストタウンの取組や2020年以降に残すレガシーについての指針を示していただきます。また、中高生が担い手となってホストタウン活動をしている事例の発表や、それらの中高生が作成したポスター展示も行います。

続いて、海外からお招きした女性アスリート・パラアスリートにホストタウンの首長とともにご登壇いただき、東京大会とホストタウンに期待することをお伺いします。そして、私自身も参加するパネルディスカッションでは、地方自治体、駐日大使館、企業などのホストタウンに関わる皆様とともに、ホストタウンの活動への「市民参画」をキーワードに意見交換していきたいと思っております。

これらの講演等に加え、各自治体の取組をまとめたポスターや、2020年の東京大会時に設置することを想定したホストタウン自治体と相手国の交流活動を発表する「ホストタウンハウス」モデルルームも、ぜひご覧いただけますようお願い申し上げます。

ホストタウン自治体、さらにはこれからホストタウンになろうとしている自治体において、スポーツのみならず、食や文化、ユニバーサルデザイン、経済などの幅広い分野での取組が、「レガシー」として末永く続いていくことを祈念しております。本日のサミットが皆様の今後のホストタウン活動の一助となれば幸いです。

開催概要



ホストタウンサミット2019

開催日時：2019年2月23日（土）12:30～（受付10:00～）

開催場所：武蔵野大学 有明キャンパス 3号館

〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3

主催：内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

プログラム

受付開始 10:00

12:30～13:30 基調講演

- ・安藤 桃子 氏（映画監督）
- ・ローラン・ピック 氏（駐日フランス大使）

13:30～14:20 中高生による発表

- ・福島県飯館村立飯館中学校
- ・磐石町立磐石中学校／岩手県立磐石高等学校
- ・鹿児島県鹿屋市立鹿屋女子高等学校／鹿児島県立鹿屋高等学校／鹿屋中央高等学校

14:30～15:30 女性アスリート・パラアスリート座談会

出演者

- | | | |
|----------------|-----------------------------|------------------|
| ・カテリン・ウオレルマン 氏 | チリ | パラカヌー選手 |
| ・ロビンソン・メンデス 氏 | チリ | パラカヌー選手 |
| ・アルベルト・バルガス 氏 | チリ | パラリンピック委員会事務局長 |
| ・アリエル・ベルナベ 氏 | チリ | パラカヌーコーチ |
| ・猪股 洋文 氏 | チリ | ホストタウン 宮城県加美町 町長 |
| ・ギャネイロ・オセアンヌ 氏 | ベナン | オリ空手選手 |
| ・渡辺 邦夫 氏 | ベナン | ホストタウン 埼玉県幸手市 市長 |
| ・オノオオバシ・オケイ 氏 | バルバドス | オリ柔道選手 |
| ・白岩 孝夫 氏 | バルバドス | ホストタウン 山形県南陽市 市長 |
| ・アイリーン・マサンガ 氏 | タンザニア | オリンピック委員会 理事 |
| ・ヘンリー・ルーシー 氏 | JICA | タンザニア事務所 |
| ・内谷 重治 氏 | タンザニア | ホストタウン 山形県長井市 市長 |
| モデレーター：勝野 美江 | 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 | 参事官 |

16:30～17:30 パネルディスカッション

「2019年度のホストタウンの取組—大会1年前のチャンス—」

キーワード：「市民参画」

パネリスト

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| ・河野 俊嗣 氏 | 宮崎県知事 |
| ・福田 良彦 氏 | 山口県岩国市長 |
| ・日影 孝志 氏 | 八幡平市花き研究開発センター所長 |
| ・センクン シラ 氏 | 駐日ギニア共和国特命全権大使 |
| ・佐竹 葉子 氏 | 株式会社LIXIL 東京2020オリンピック・パラリンピック推進本部長 |
| ・櫻田 義孝 氏 | 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣 |

コーディネーター：諸戸修二（内閣官房オリパラ事務局企画・推進統括官）

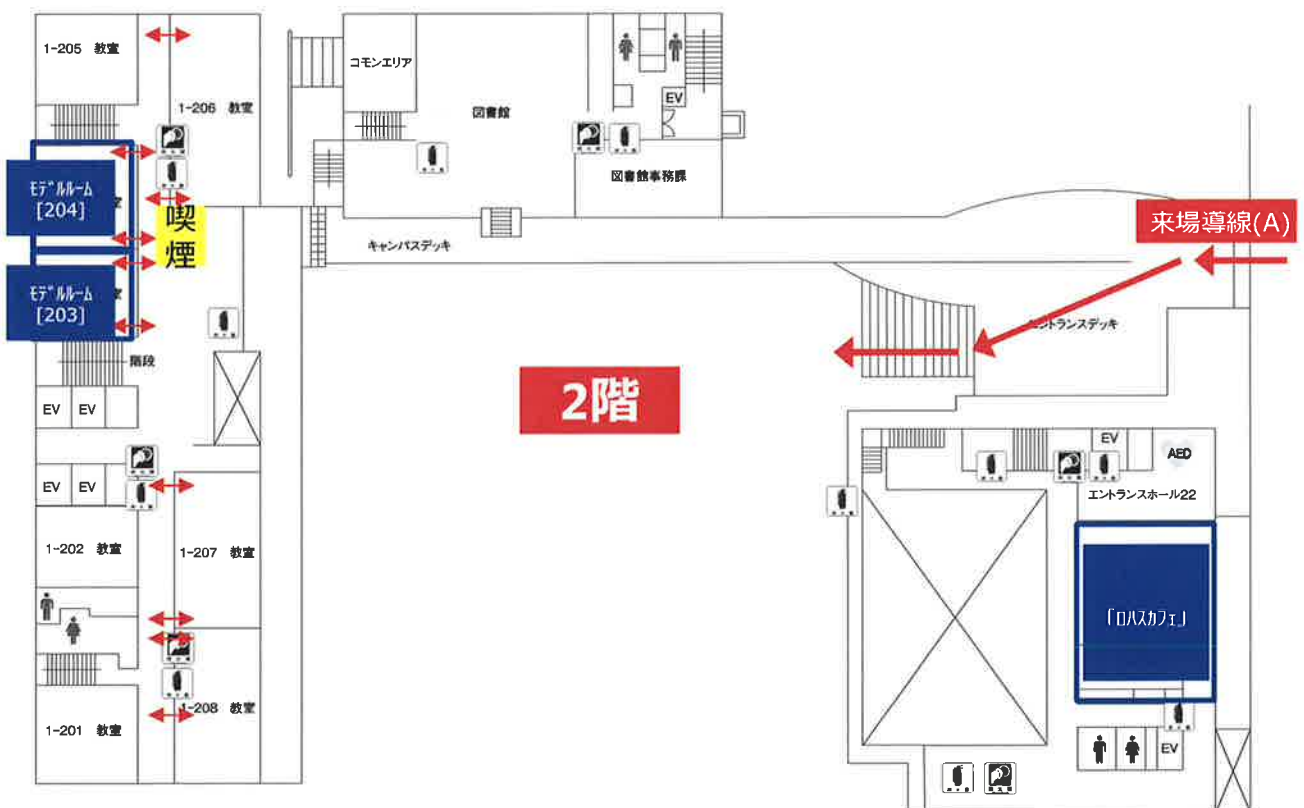
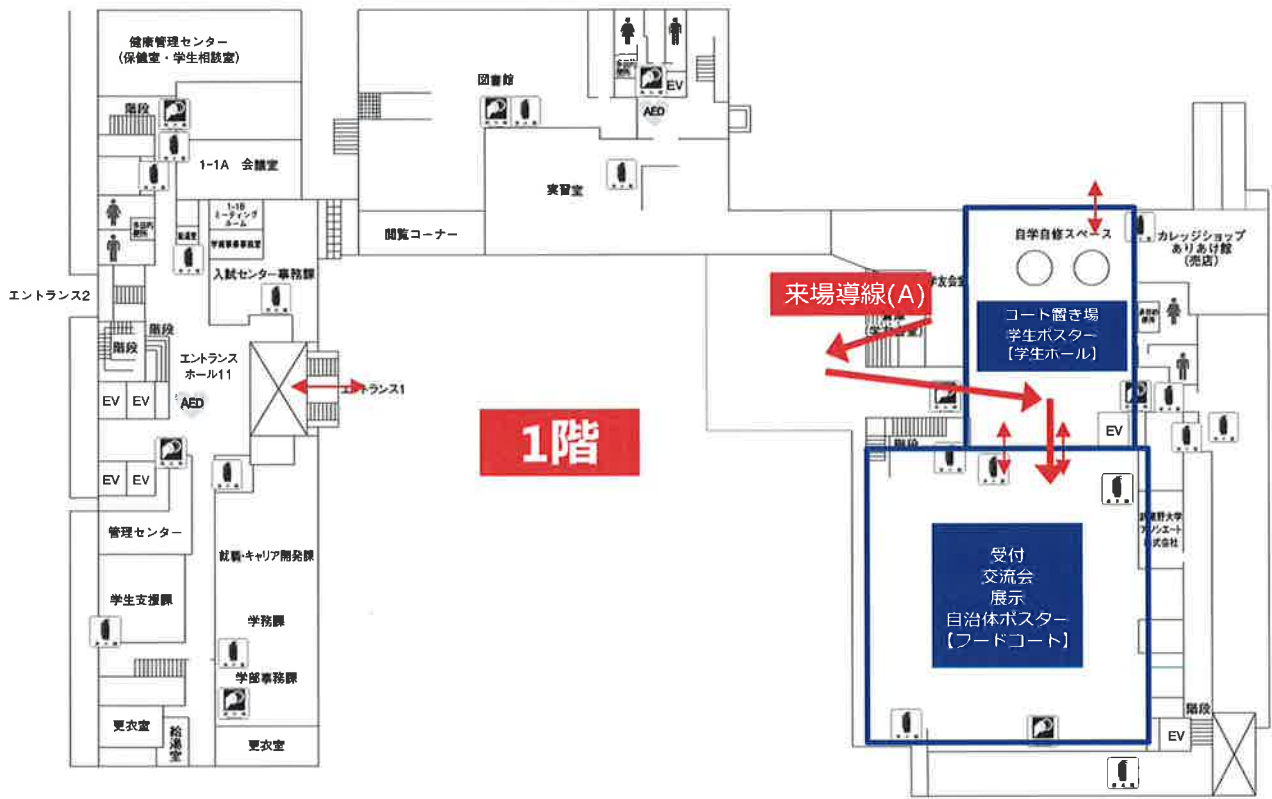
17:30～18:00

三島村、日向市、幸手市、南陽市、ベナン、バルバドスによる音楽パフォーマンス

18:00～19:30 交流会

- ・表彰（ホストタウンリーダー、情報発信優良事例、ポスター投票結果発表）

会場マップ





参加者の皆様へ

自治体ポスターセッションについて

46のホストタウンが、その取組をまとめたポスターを展示しており、参加者による投票を実施します。掲示しているポスターの下段に投票シートをご用意しておりますので、参加受付時にお渡しした投票シールをお貼りいただき、投票をお願いいたします。投票は一人につき、一票とします。

投票の際の基準は、

取組自体が

- ・市民を巻き込んだものであること
- ・創意工夫を持って取り組まれていること
- ・事業の継続性について考慮されていること

ポスターが

- ・取組がわかりやすくまとめられていること
- ・熱意が伝わってくること

となります。

投票の結果は、交流会で発表いたします。

なお、各ポスターは別冊をご参照ください。

ホストタウンハウスモデルルームについて

*ホストタウンハウスとは

2020年東京大会開催期間中に、東京都内に設置を検討しています。

このホストタウンハウスは、相手国大使館とホストタウン自治体が協力して、世界中から来日する関係者や一般観戦者に対して、おもてなしを提供する交流スペースとして設置するものです。相手国のもつ文化や素材を紹介するだけでなく、ホストタウン自治体での交流活動を紹介する機会も設け、相手国関係者にホストタウン自治体をアピールし、大会後の交流にも繋げていくことが期待されます。

今回のホストタウンサミットで展示する「ホストタウンハウス・モデルルーム」は、2020年東京大会において、ホストタウンハウスが担う役割や機能などを具体的な展示物で示します。

ホストタウンの皆様から、情報を提供いただき、それを材料として、複数の企画プロデューサーがホストタウンハウスのコンセプトモデルを具現化します。

本モデルルームをホストタウンサミット参加者にご覧いただき、大会までの一年間におけるホストタウンの取組のイメージを持っていただくとともに2020年の展示に向けた準備を加速することを狙いとしています。

今後のホストタウンの取組や、2020年後のホストタウンレガシーについて、自治体に対して大きな指針を示していただく。



@Ittetsu Matsuoka

超えられる魔法

映画監督

安藤 桃子 氏

プロフィール

1982年、東京生まれ。高校時代よりイギリスに留学し、ロンドン大学芸術学部を卒業。その後、ニューヨークで映画作りを学び、助監督を経て2010年『カケラ』で監督・脚本デビュー。2011年、初の長編小説『0.5ミリ』（幻冬舎）を出版。同作を監督、脚本し、第39回報知映画賞作品賞など多数の賞を受賞。

現在は高知県に移住し、チームと共に映画文化を通し、日本の産業を底上げするプロジェクトにも力を注いでいる。

また情報番組「news zero」（日本テレビ系）ではゲストコメンテーターとして出演するなど、活動の幅を広げている。

ホストタウンを取り上げるNHK Worldの番組「Kids Meets the World」では、番組MCとして日本の子どもたちが世界の子どもたちとの交流を深めていくサポートをしている。

聞いた事無い街、行った事無い国、お互いに知り得なかった存在同士が、かけがえの無い存在に変わる。国が違えば、文化が違ふ、身体が違えば、特技が違ふ。背の高い子も、太っちょな子も、それぞれに活躍できる競技がある。どんなハードルも、壁も、ヒョイツと超えられる魔法がある。その名も、文化。我ら地球の子、どこもかしこも、仲良くしようじゃないか。



オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けて ーホストタウンと日仏関係の強化

駐日フランス大使

ローラン・ピック 氏

プロフィール

ローラン・ピック 駐日フランス大使

フランス国立東洋言語文化学院 (INALCO) ロシア語学修士号取得、
パリ政治学院卒業

近年では以下の役職を歴任。

2012-14年：ジャン=マルク・エロー首相官房外交顧問

2014-16年：駐オランダ・フランス大使

2016-17年：ジャン=マルク・エロー外務・国際開発大臣官房長

2017年6月より：駐日フランス大使

講演では、アスリートたちのオリンピック・パラリンピック競技大会事前合宿におけるホストタウンの役割の大切さや、日本やその市町村の魅力を伝える機会となることを強調したい。ホストタウン制度は日本とフランスの地方自治体交流のさらなる活性化に大きく貢献する。

福島県飯舘村、岩手県雫石町、鹿児島県鹿屋市の中高生が取り組むホストタウンの実践について発表する。



飯舘中学校ホストタウンプロジェクトIOC総会

福島県飯舘村立飯舘中学校

プロフィール／飯舘中学校は東日本大震災に伴う原発事故により、2018年3月まで福島市飯野町の仮設校舎で授業を続けてきました。今年度、7年ぶりに飯舘村内の本校舎に戻りました。全校生徒42名（1年12名、2年8名、3年22名）という小規模な学校ではありますが、少人数の強みを生かした教育活動の充実に取り組んでいます。

飯舘村がラオスのホストタウンになったことから、本校では「知る→伝える→来てもらう」をテーマに、ラオス選手団を迎えるための活動を進めています。その成果をIOC (IITATE ORIMPIC COMMITY) 総会と称した生徒による会議形式で発表します。地域の方々や外部の専門家、企業、大学等と協働しながら進めてきた生徒たちの活動にご注目ください。

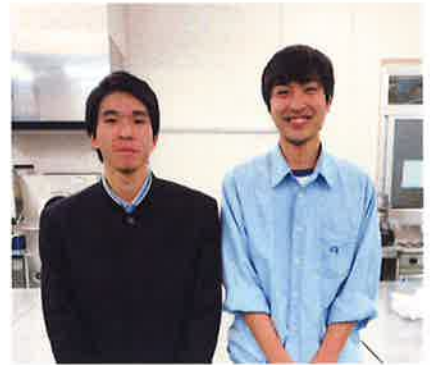


雫石町の中高生によるポスター制作を通じた取組み

雫石町立雫石中学校／岩手県立雫石高等学校

プロフィール／ドイツを相手国とする「復興ありがとうホストタウン」の雫石町の大会機運醸成に向けた活動として、雫石町とドイツを紹介するポスター制作に中高生で取り組むことになり、地元の雫石中学校、雫石高校それぞれの代表として私たち6名が担当することに決まりました。ポスター制作講座では、講師から様々なことを学び、また、活動を通して多くの方との出会いがあり、非常に有意義に活動できました。

雫石町とドイツ友好都市との交流経緯や震災直後の友好都市の取組紹介、友好都市とのポスター制作にあたって6回開催した「映像のプロに学ぶポスター制作講座」の様子や、雫石町及び山田町でのドイツ学生との交流の様子、また、ドイツの義足アスリートであるハインリッヒ・ポポフ選手、岩手県立大学でドイツ語を教えている雫石町在住のウヴェ・リヒタさんへのインタビューの様子をまとめた内容を発表します。



「ホストタウンって何??」から始まった取組

鹿屋女子高等学校／鹿屋高等学校／鹿屋中央高等学校

プロフィール／タイのホストタウンに登録された鹿屋市内の高校生がタイナショナル女子バレーボールチーム取材し、高校生ならではの目線で作成したホストタウン便りや、オリンピックの機運醸成を高めるためのポスター、そして、選手村に納品できる基準を満たす地元食材を活かしたメニュー考案の取組を世界に情報発信します。

地元高校生が、「ホストタウンとは何?」「タイの基本情報や食の文化など」「これまでのタイとの交流」について分かりやすく・見やすく作成したホストタウン便りや、親しみやすさを感じさせるホストタウンポスター、そしておもてなしの心をもって考案したメニューについて、その過程や思いについて発表します。

ベナンからは空手選手、タンザニアからはオリンピック委員会理事、バルバドスからは柔道選手、チリからはパラカヌー選手2名が登壇し、女性選手・パラ選手らが、東京大会、ホストタウンに期待することなどを語る。



チリ パラカヌー選手

カテリン・ウォレルマン 氏

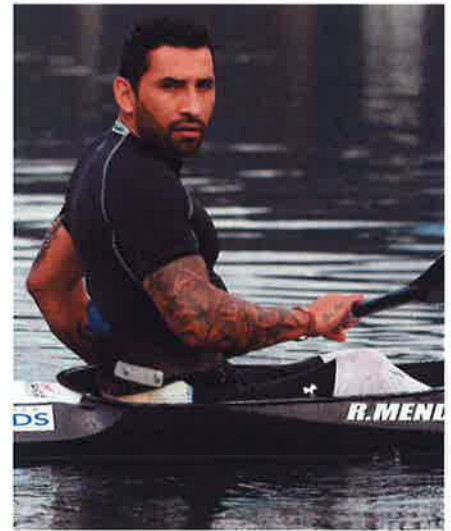
プロフィール / カテリン・ウォレルマン選手は、突発的な感染症による脊髄炎の診断を受け、車椅子を使用することを余儀なくされた後、2012年にパラリンピックのスポーツを始めました。彼女は強く、じっとしてられない性格です。チリ南部出身である彼女は、苦悩を和らげ、そして新たな道を進むために、カヌー競技を始めました。彼女の粘り強さはすぐに目立つようになり、地域及び南米大会において優秀な成績を修め、2016年パラリンピック・リオデジャネイロ大会へ出場しました。同パラリンピックにおいて、KL2-200決勝戦に第4位となり、チリのパラチームの中でも目立った選手の一人でした。南米大会、パンアメリカン(米州)大会、世界大会でメダルを獲得した、素晴らしい2018年の成績をもって、2020年のパラリンピック・東京大会の出場を目指しており、自身の行跡を拡大し続けたいと望んでいます。



チリ パラカヌー選手

ロビンソン・メンデス 氏

プロフィール / ロビンソン・メンデス選手は、チリでパラリンピックに最も多く参加している選手です。彼は過去に車椅子テニスの選手であり、2004年アテネ大会、2008年北京大会、2012年ロンドン大会、2016年リオデジャネイロ大会に参加しました。リオ大会後、メンデス選手はテニスをやめ、新たな記録を目指すこととし、2020年パラリンピック東京大会へカヌー選手として出場することを目指すとしました。テニス選手としての彼の成績は、国際テニス連盟(ITF)での大会で31のタイトルを獲得しており、世界ランキング11位を達成しました。現在はカヌー選手として、南米大会及びパンアメリカン(米州)大会でメダルを獲得しており、彼のカヌーのオールは、来年のパラリンピック東京大会を目指しています。



ベナン オリ空手選手

ギャネイロ・オセアンヌ 氏

プロフィール / 2017年、空手のアフリカチャンピオン。空手道/黒帯3段。1994年生(24歳)。ベナン共和国・コトヌー出身、ソノウ大学2年生。2015年に北アメリカ大学ベナン校で、科学・政治学専攻。フォン語(ベナン語)、フランス語は堪能。英語も可能。スポーツや旅行、音楽、読書、ダンスが趣味。勇気があり、組織力、社交性、勤勉、忍耐力がある。



バルバドス オリ柔道選手

オノオオバシ・オケイ 氏

プロフィール／柔道(48キロ級)。学生の頃、活躍していた柔道家で、カリブ海の大会や世界大会に出場。2013年世界柔道選手権大会出場。2014年コモンウェルスゲームズ 5位。

1995年生まれ。10歳で柔道を始める。きっかけは、コーチをしていた両親の友人からの勧誘。当時は、ダンスに集中していてコーチからかなり説得せざるをえなかった。ある日の柔道稽古に参加した時、自分が思っていたより楽しかった。柔道を始めて良かった事はたくさんある。長い間、バルバドスを代表する柔道家の中では唯一の女性。それはそれでいろいろ大変だったが、チームメイトが兄弟に近い存在になった。1週間に6日一緒に稽古したり、一緒に旅行にも出かけたりした。一生なくなる心配ができたことだけでなく、柔道のおかげで自信を持つことができた。柔道を始める前はとてもシャイで自分に自信がなかったが、稽古では男子に負けなかったし、大会でメダルを取ることができたので、がんばればできることに気がついた。その考えを他の分野でも活用することができた。

タンザニアオリンピック委員会 理事

アイリーン・マサンガ 氏



プロフィール／2020年東京オリンピックのチーム・タンザニアマネージャー。2017-タンザニアテニス協会事務局長。2016-アフリカ国内オリンピック委員会連合(ANOCA)の女性スポーツ委員会委員。2006-コモンウェルスゲームズタンザニアチームマネージャー。2004-スポーツ行政及びリーダーシップコースのファシリテーター。2002-タンザニアオリンピック委員会理事。2001-国際審判員(テニス)。2000-2010タンザニアテニス委員会理事。



JICAタンザニア事務所

ヘンリー・ルーシー 氏

プロフィール／JICA(国際協力機構)タンザニア事務所の現地職員。JICAタンザニア事務所が同国で開催した女子陸上競技会「LADIES FIRST」では、企画立案者の一人であるJICAタンザニア事務所広報大使を務めるジュマ・イカンガーさんの調整役として事業の成功をサポート。平成30年10月には、タンザニアからの訪問団の副団長として長井市を訪問。日本とタンザニアをつなぐ存在として活躍している。

モデレーター

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 参事官

勝野 美江 氏

プロフィール／農林水産省入省、食育基本法制定時に農林水産省で食育を担当。食事バランスガイドの策定、教育ファームの立ち上げなどに携わる。文部科学省科学技術政策研究所では「日米欧における健康栄養研究の位置づけの歴史的変遷に関する調査研究～大学に着目して」等を共同執筆。その後、農林水産省で介護食品の普及、途上国の栄養改善の取組を民間事業者とともに取り組むプロジェクト等に携わった後、和食室長を経て2016年6月から現職。博士(生涯発達科学)。



「2019年度のホストタウンの取組一大会1年前のチャンスー」

キーワード:「市民参画」

自治体首長(宮崎県知事、岩国市長)、駐日大使(ギニア大使)、民間企業(LIXIL、八幡平市花き研究開発センター)、櫻田オリパラ大臣が、「2019年度のホストタウンの取組一大会1年前のチャンスー」と題し、「市民参画」をキーワードに議論を行う。

パネリスト



宮崎県知事

河野 俊嗣 氏

プロフィール／昭和39年9月8日広島県呉市生まれ。東京大学法学部卒。昭和63年自治省入省後、平成11年4月埼玉県総務部財政課長、平成16年4月総務省自治税務局企画課税務企画官等を歴任。平成17年4月には宮崎県総務部長、平成19年2月同県副知事を務め、平成23年1月から現職。現在3期目。

山口県岩国市長

福田 良彦 氏

プロフィール／昭和45年6月14日岩国市生。平成元年3月山口県立岩国高等学校卒業、平成6年3月法政大学卒業、平成6年4月代議士秘書、平成11年5月岩国市議会議員、平成15年4月山口県議会議員、平成17年9月衆議院議員、平成20年2月岩国市長に初当選し現職に至る。趣味は子供と遊ぶ事、けん玉、魚釣り、映画鑑賞。座右の銘は「面白き こともなき世を 面白く」(高杉晋作)



駐日ギニア共和国特命全権大使

センクン シラ 氏

プロフィール／日本の他、シンガポール、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、フィジー、フィリピンを管轄する。前職はギニア外務省アフリカ・アジア・中東局長代行。

平成30年10月、前在ギニア日本国大使の迫(ハサマ)氏とともに、ギニアのホストタウンである鹿児島県三島村を訪問。



八幡平市花き研究開発センター所長

日影 孝志 氏

プロフィール／昭和56年東北大学大学院農学研究科修士課程修了。平成7年3月まで農業高校教諭。平成7年4月より八幡平市(旧安代町)勤務。平成23年度日本育種学会賞受賞(グループ代表)。平成27年度農業技術功労者表彰受賞。農学博士。



東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

櫻田 義孝 氏

プロフィール／

昭和49年 明治大学商学部商学科卒業
昭和62年 千葉県柏市議会議員
平成 7年 千葉県議会議員
平成 8年 衆議院議員総選挙 初当選
平成13年 外務大臣政務官
平成14年 経済産業大臣政務官
平成17年 内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当)
平成25年 文部科学副大臣(科学技術・学術、スポーツ担当)
平成30年10月より現職



株式会社LIXIL理事

東京2020オリンピック・パラリンピック推進本部長
兼 文化推進部長

佐竹 葉子 氏

プロフィール／1989年に株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)に入社し、人事部で採用と教育を担当。1992年に営業部門に異動し営業・業務企画に携わる。2001年から株式会社INAXシステム・ホールディングス(現 株式会社LIXILグループ)秘書室で社長秘書を務める。2007年にINAX広報室長就任。LIXILグループコーポレートコミュニケーション部長などを経て、2015年執行役員広報部長に就任。2018年からLIXIL理事東京2020オリンピック・パラリンピック推進本部長 兼 文化推進部長。



コーディネーター

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
企画・推進統括官

諸戸 修二 氏

プロフィール／自治省入省、静岡市財政局長、復興庁参事官、内閣府地方創生推進室次長、総務省公務員課長等を経て現職。

